

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【公開番号】特開2001-3940(P2001-3940A)

【公開日】平成13年1月9日(2001.1.9)

【出願番号】特願2000-118852(P2000-118852)

【国際特許分類】

F 16 C 33/20 (2006.01)

F 16 C 17/02 (2006.01)

G 02 B 26/12 (2006.01)

【F I】

F 16 C 33/20 Z

F 16 C 17/02 A

G 02 B 26/10 102

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】動圧軸受構造および偏向走査装置

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】スリープと、該スリープに回転自在に嵌合する棒状軸とを備えており、前記スリープおよび前記棒状軸のうちの少なくとも一方が動圧発生溝を有し、前記スリープおよび前記棒状軸のうちの少なくとも一方の嵌合面に電着塗装膜が設けられていて、前記電着塗装膜が、樹脂に潤滑性をもつ無機物微粒子を分散させた膜であることを特徴とする動圧軸受構造。

【請求項2】電着塗装膜が、前記スリープ上に設けられた化成処理膜の上に設けられていることを特徴とする請求項1記載の動圧軸受構造。

【請求項3】前記化成処理膜が、めっきによって形成される導電膜であることを特徴とする請求項2記載の動圧軸受構造。

【請求項4】請求項1ないし3いずれか1項記載の動圧軸受構造と、スリープと棒状軸のうちの回転する方に設けられた光束を偏向走査する偏向走査手段とを有する偏向走査装置。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、動圧発生溝を有する動圧軸受構造と、その動圧軸受構造を有する偏向走査裝

置に関するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明は上記従来の技術の有する未解決の課題に鑑みてなされたものであり、棒状軸やスリープの少なくとも一方の嵌合面に耐摩耗性を向上させる電着塗装膜を形成することで摩耗粉の発生を回避して、すぐれた軸受性能を長期間維持できる安価で高性能な動圧軸受構造および偏向走査装置を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するために本発明の動圧軸受構造は、スリープと、該スリープに回転自在に嵌合する棒状軸とを備えており、前記スリープおよび前記棒状軸のうちの少なくとも一方が動圧発生溝を有し、前記スリープおよび前記棒状軸のうちの少なくとも一方の嵌合面に電着塗装膜が設けられていて、前記電着塗装膜が、樹脂に潤滑性をもつ無機物微粒子を分散させた膜であることを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】